

日退教発 21 - 17 号  
2021 年 5 月 28 日

日本退職教職員協議会  
各単会 会長 様

日本退職教職員協議会  
会長 竹田邦明

ミャンマー民主化支援の 캄パの取組みについて

日頃のご活躍に敬意を表します。

2 月 1 日、ミャンマー国軍がアウンサンスーチー国家顧問、ウィンミン大統領など国民民主連盟 (NLD) 幹部を昨年 11 月の選挙で不正があったとして拘束しました。

その、NLD を支持し、民主化を支持する市民へ、国軍は銃をもって弾圧を強めてきて、5 月 17 日までに、子どもを含む 802 名の犠牲者が出ていると、政治犯支援協会 (AAPP) は報告しています。

クーデター直後からミャンマー市民は「非暴力による不服従運動 (Civil Disobedience Movement) を展開してきました。

この運動には、鉄道員、教員、医療従事者や警察官など多くの公務員も参加しています。

北部では、国軍に批判的なカチン族、チン族等との間で戦闘が行われ、数十万の市民が避難するという事態が生じています。

不服従運動に参加する市民には収入の道が閉ざされ、困窮を余儀なくされています。

日本国内のミャンマー出身者特に留学生等は本国からの支援が断たれ生活不安と隣り合わせにいます。

平和フォーラムは、ミャンマー市民社会の要請を受けて「ミャンマー民主化支援の 캄パ」の取組みを行うことになりました。

日退教は、この要請を受けて、本部として 캄パ会計より一定額の 캄パを行うこととし、各県の皆さんにこの「 캄パの取組み」を紹介することにしました。

캄パされる単会は直接下記口座に振り込みをおねがいします。

口座名	JAM FWUBC (ジャム エフダブルユービーシー)
口座番号	0720586
店名	中央労働金庫 田町支店

캄パ行動の期間 2021 年 6 月より 2021 年 12 月まで

使途は以下の通りです。

- ① 不服従運動に参加するミャンマー国内の市民への支援
- ② 国軍による弾圧から避難しているミャンマー国内の市民への支援
- ③ 日本国内で困窮するミャンマー人への支援
- ④ ミャンマーへの帰還に危険を伴い、難民申請中のミャンマー人への支援
- ⑤ その他、総合的なミャンマー民主化への支援

